

姫路城城下町

姫路は古代には国府があり、中世にも守護屋敷などが置かれていた。江戸時代の城と城下町は、関ヶ原合戦の戦功により播磨に封じられた池田輝政による慶長6年(1601年)からの築造によりほぼ完成した。

姫路城は姫山と鷲山にわたって築かれた平山城で、山麓を内堀で囲む。その周囲の城下町を中堀と外堀で囲む総構を形成していた。中堀内は上・中級武家屋敷や播磨国総社とし、外堀内は下級武家屋敷や寺町のほか街道に沿って町屋を設けていた。

Ⅰ 内京口門

※現在、城門内は学校法人賢明女子学院の敷地となるため見学は外部からのみとなります。

中堀に設けられた11ヶ所の城門の一つ。外京口門から続く西国街道が手前まで続き、姫路藩主の参勤交代時に使用されたりした。高麗門形式の外門と櫓門形式の内門により内枳形を形成していた。

平成8年度に内門東側、平成30年度に外門東側石垣の解体修理が行われている。現在、内門西側の石垣は撤去され、枳形の一部と外門の石垣のみが残る。



Ⅱ 北条門

櫓門形式で南側に接して二層の櫓が設けられていた(表紙の『幾藏図冊』では櫓は三層に描くが、他の絵図などから実際には二層であったとみられる)。前面の外堀を渡る土橋が鍵の手状に屈曲し、枳形と似た働きをする。平成17年度の姫路城跡発掘調査(第238次)で土橋の北西部と北側の外堀沿いの石垣が検出された。



※現在、遺構の見学はできません。

Ⅲ 外京口門

西国街道の東への出口となる城門。櫓門形式の内門前面の土橋がL字に折れて一部幅が広がり高麗門形式の外門を設けて枳形としている。5カ所ある外堀の城門で内外の城門を構えるのは、備前門(福中門)とここだけである。櫓門の東に二層櫓が存在した(表紙の『幾藏図冊』では櫓は三層に描くが、他の絵図などから実際には二層であったとみられる)。外門の外は土橋であったが、寛永2年(1749年)に流出して後は木橋となった。

昭和57年の姫路城跡発掘調査(第27次)で土橋石垣の一部と土橋の下を抜ける暗渠の一部が検出された。現在は東光中学校の体育館となり、石垣の一部が地下に保存されている。



※現在、遺構の見学はできません。



への門の内側

高麗門

二本の主柱の上に切妻屋根をのせ、主柱内側の控柱にも屋根を付けた単層の門。



菱の門

櫓門

門の上に横長の多間櫓をのせた二ないし三層の門。

表紙の城下町絵図(「姫路侍屋敷図」18世紀中頃)は姫路市立城郭研究室所蔵。『幾藏図冊』(姫路市立城内図書館所蔵)から、内京口門、外京口門、北条門の絵図を一部加工。その他の発掘状況などの写真は姫路市埋蔵文化財センター所蔵である。

姫路市埋蔵文化財センター

Himeji City Archaeological Research Center
〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元414番地1
TEL (079)252-3950 / FAX (079)252-3952
URL <http://www.city.himeji.lg.jp/maibun-center/>

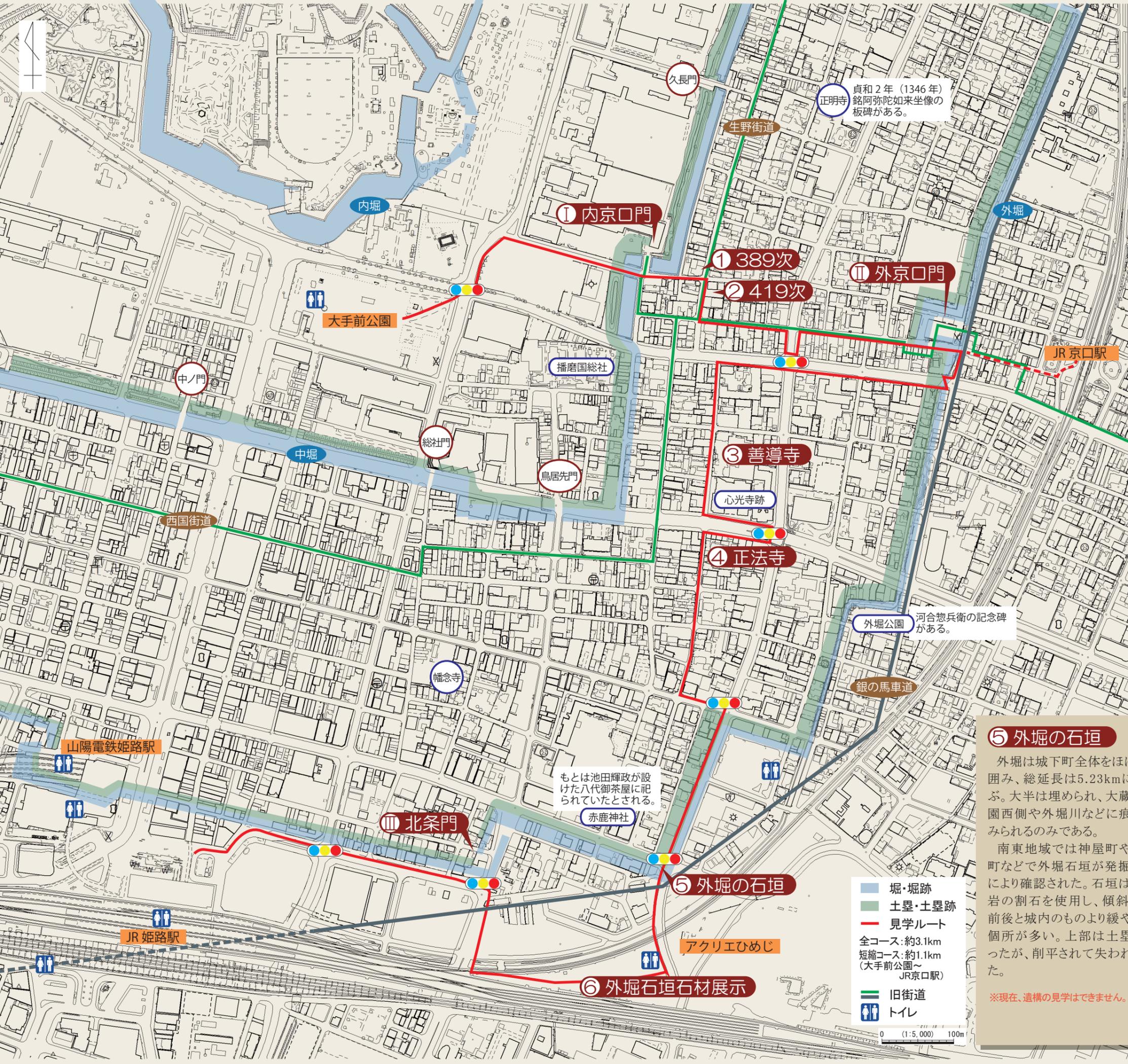
姫路市立城郭研究室

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-258日本城郭研究センター内
TEL (079)289-4877 / FAX (079)289-4890
URL <http://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken>

令和3年(2021年)11月20日発行

姫路城城下町を巡る (東部)





① 城下町跡 (第389次調査)

生野街道に面しており、発掘調査で醸造に関連する半地下式竈や大型土坑などが見つかったことから、江戸時代前期には酒造業の町屋があったとみられる。



※現在、遺構の見学はできません。

② 城下町跡 (第419次調査)

江戸時代前半の半地下式竈などが確認された。城下町以前では播磨国府に関連する可能性のある、平安時代中期の遺構や高級食器である緑釉陶器などが出土している。



※現在、遺構の見学はできません。

③ 善導寺

もと椰寺といい、池田輝政の築城時に現在の寺町へ移転したとされる。境内に幕末の姫路藩尊王攘夷派である河合惣兵衛・伝十郎の墓や建武元年(1334年)銘の石仏がある。



右が河合惣兵衛の墓

④ 正法寺

もとは別所町佐土にあり惣社西門付近を経て池田輝政の姫路町割りで現在地に移る。境内には慶長18年(1613年)銘の池田輝政供養塔とされる花崗岩製の五輪塔がある。



池田輝政の供養塔

⑤ 外堀の石垣

外堀は城下町全体をほぼ取り囲み、総延長は5.23kmにおよぶ。大半は埋められ、大蔵前公園西側や外堀川などに痕跡のみみられるのみである。

南東地域では神屋町や朝日町などで外堀石垣が発掘調査により確認された。石垣は凝灰岩の割石を使用し、傾斜60度前後と城内のものより緩やかな個所が多い。上部は土塁であったが、削平されて失われていた。

※現在、遺構の見学はできません。



⑥ 外堀石垣石材展示

- 現在、外堀石垣は見学できないが、アクリエひめじ敷
- 地内に発掘調査で出土した
- 外堀石垣の石材を8個所に
- 分けて展示している。石を割るための矢穴の痕跡が残る
- 石もある。



貞和2年(1346年) 銘阿彌陀如来坐像の板碑がある。

河合惣兵衛の記念碑がある。

もとは池田輝政が設けた八代御茶屋に祀られていたとされる。

- 堀・堀跡
- 土塁・土塁跡
- 見学ルート
- 全コース:約3.1km
- 短縮コース:約1.1km (大手前公園~JR京口駅)
- 旧街道
- トイレ

0 (1:5,000) 100m